

名古屋市博物館のリニューアル改修について

目 次

	頁
1 リニューアル改修の概要	1
2 施設概要	4
3 展示計画	1 4
4 デジタル名古屋市博物館	2 4
5 スケジュール	2 5

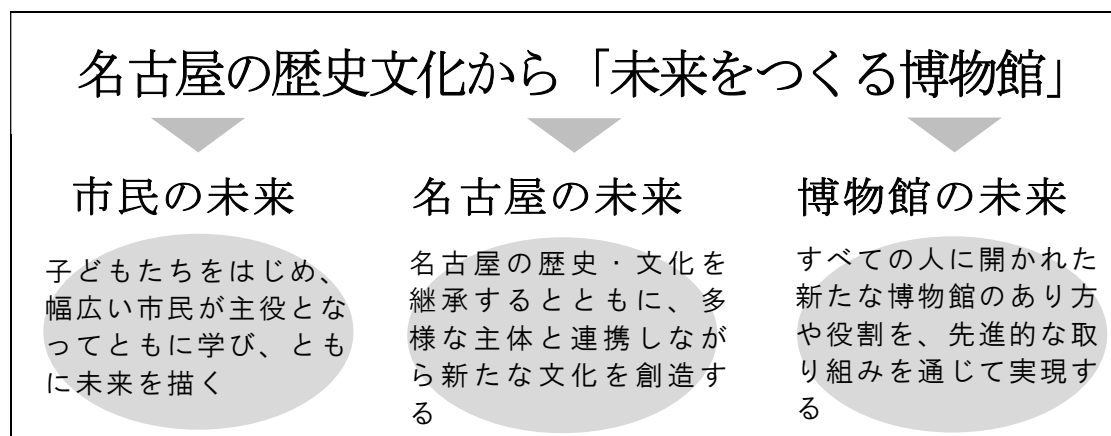
1 リニューアル改修の概要

(1) 背景

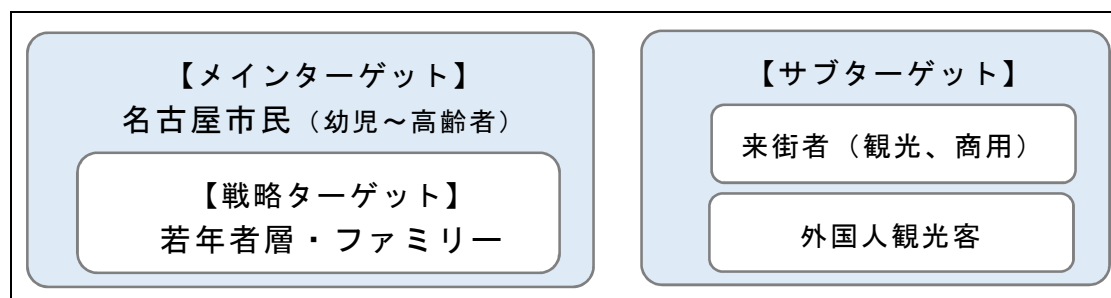
名古屋市博物館は開館後45年以上が経過し、建物・設備の老朽化、展示室の狭あい化・陳腐化、収蔵庫の狭あい化・機能不足、学習機能環境の未整備、地域活力向上への寄与などの課題を抱えているため、リニューアル改修整備が必要となっている。

(2) 新しい名古屋市博物館の姿

ア 魅力向上のコンセプト



イ 利用者像（ターゲット）



(3) 活動の基本方針

- ・名古屋の魅力や価値を再構築し、未来へと継承する
- ・歴史・文化資料から「物語」を紡ぎ、知的好奇心を刺激する
- ・人を育てる、人に育まれる
- ・人々の交流を創出し、地域づくりに貢献する
- ・人に優しく、社会状況にあわせて、持続的に運営する

(4) リニューアル改修により強化する機能

区 分	内 容
資料保管機能	○本館の他に収蔵庫を整備するとともに、収納効率を高めることで有効な収蔵面積を拡大 ○調湿性・防火性等収蔵環境を強化し、歴史・文化資料や情報を未来へ継承する機能を向上
調査・研究機能	○名古屋を中心とする尾張地域および日本の歴史・文化の標準となる資料を充実 ○資料システムを構築し、調査研究成果などの情報を蓄積することで博物館資料の価値を増大
展 示 機 能	○常設展示では体験・体感型の展示やICT技術の活用により、名古屋ならではのストーリー性の高い展示を構成 ○地域の文化財や他の教育施設等とのつながりを構築 ○地域の歴史・文化に関わる資料や国内外の優れた作品の展示をより展開しやすくなるよう特別展示室を拡大 ○現代的なイベント等を行うイベントホールを新たに整備
学習支援機能	○新たな学びを創出するために、デジタルミュージアム、ライブラリー、ワークショップを組み合わせることで、あらゆる世代の主体的な学びを推進

区 分	内 容
交流・連携機能	○前庭を多彩なイベント開催の場、市民の日常的な憩い・交流の場として整備することで、敷地全体の賑わいを創出するとともに、博物館を中核とした地域づくりに貢献
バリアフリー・アメニティ機能	○エスカレーター増設、エレベーター開口部の拡張、キャノピーの延長、トイレ機能の充実等バリアフリー化を推進 ○授乳室等の新設、多言語対応を充実

2 施設概要

(1) 本館・仮収蔵庫

区 分	内 容
所 在 地	名古屋市瑞穂区瑞穂通 1 丁目 2 7 番地の 1
敷地面積	19,217.12m ² （東側敷地・北側敷地を含む）
建築構造	本 館：鉄骨鉄筋コンクリート造、地上 5 階、地下 2 階 仮収蔵庫：鉄骨造、地上 3 階
建築面積	本 館：3,508.74m ² 仮収蔵庫：1,381.92m ²
延床面積	本 館：18,870.03m ² 仮収蔵庫： 4,158.16m ²
駐車台数	1 1 4 台（うち障害者用 4 台）

（注）仮収蔵庫は令和 1 0 年度に東館へ改修予定である。

(2) 諸室

ア 本館

(単位：㎡)

区 分	面 積	
	現 状	改 修 後
常 設 展 示 室	1, 8 6 8	2, 1 9 0
特 別 展 示 室	9 6 3	1, 7 1 0
イベントホール	—	8 4 0
収 蔵 庫	2, 2 2 3	2, 4 1 0
ギャラリー	1, 6 1 6	—
ライブラリー	—	1 4 0
閉 架 書 庫	—	3 2 0
展 示 説 明 室	2 6 5	—
講 堂	3 7 8	3 5 0

(注) 改修後の面積は概算数値を掲げた。

イ ワークショップ棟 (旧食堂棟)

(単位：㎡)

区 分	面 積	
	現 状	改 修 後
ワークショップスペース	—	2 7 4
食 堂	2 7 4	—

(注) 改修後の面積は概算数値を掲げた。

ウ 仮収蔵庫

(単位：㎡)

区 分	面 積
収 蔵 庫	1, 2 2 0
ギャラリー	1, 0 6 0
1 階ホール (カフェ・キッズスペース)	3 7 0

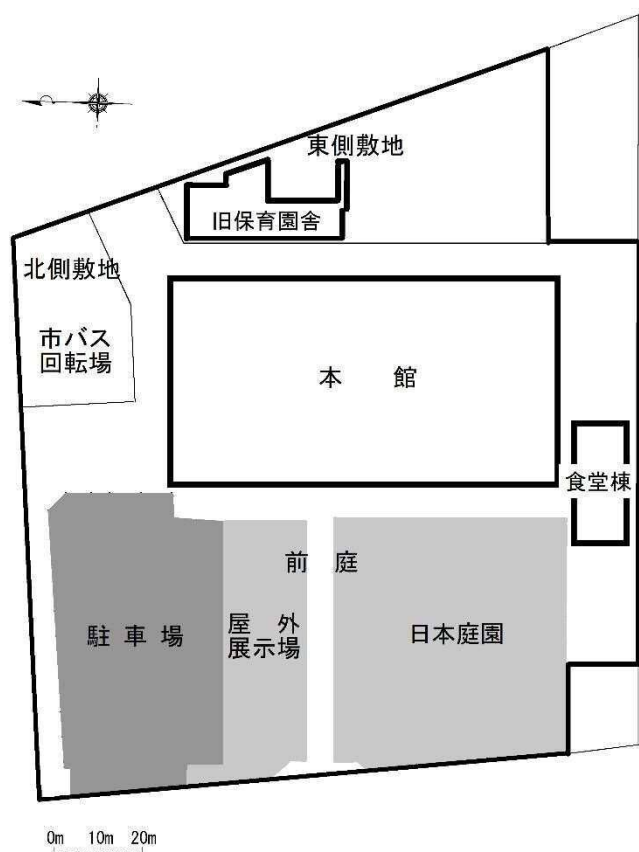
(注1) 仮収蔵庫は令和10年度に東館へ改修予定である。

(注2) 面積は概算数値を掲げた。

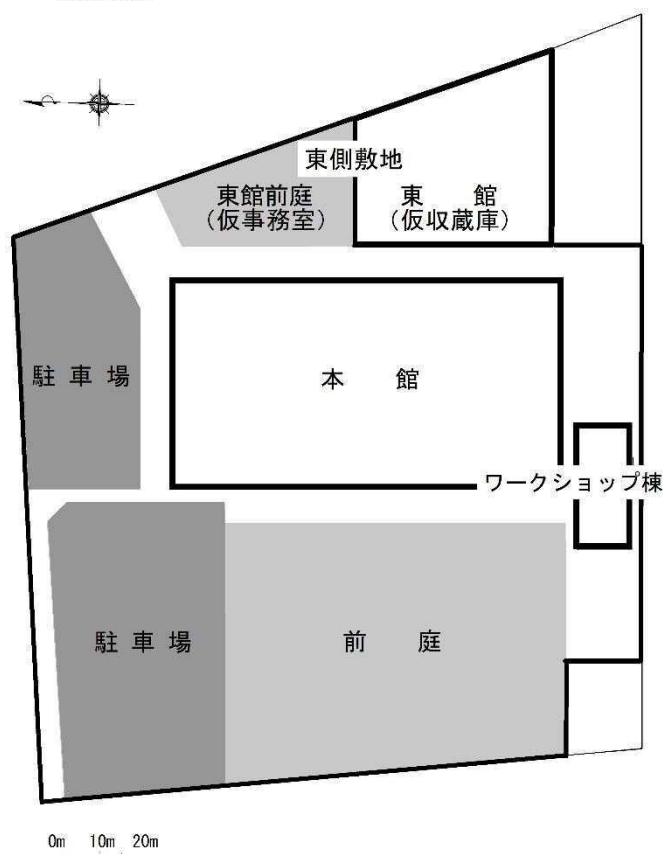
(3) 施設図面

ア 配置図

改修前



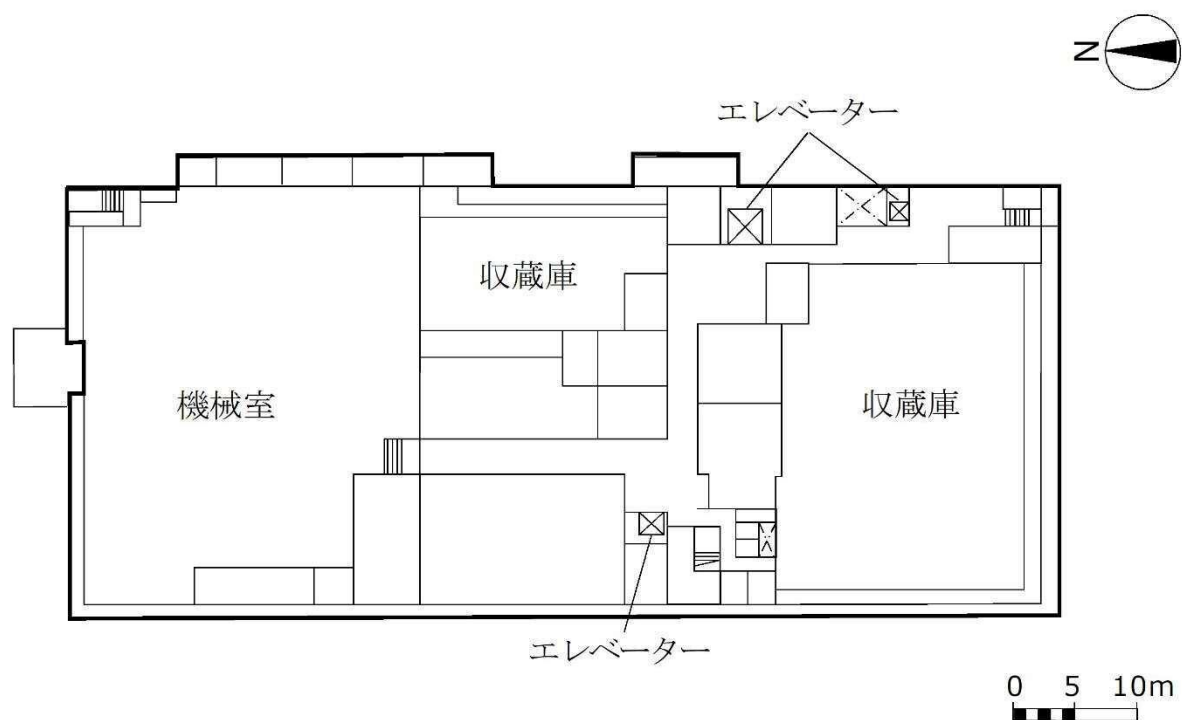
改修後



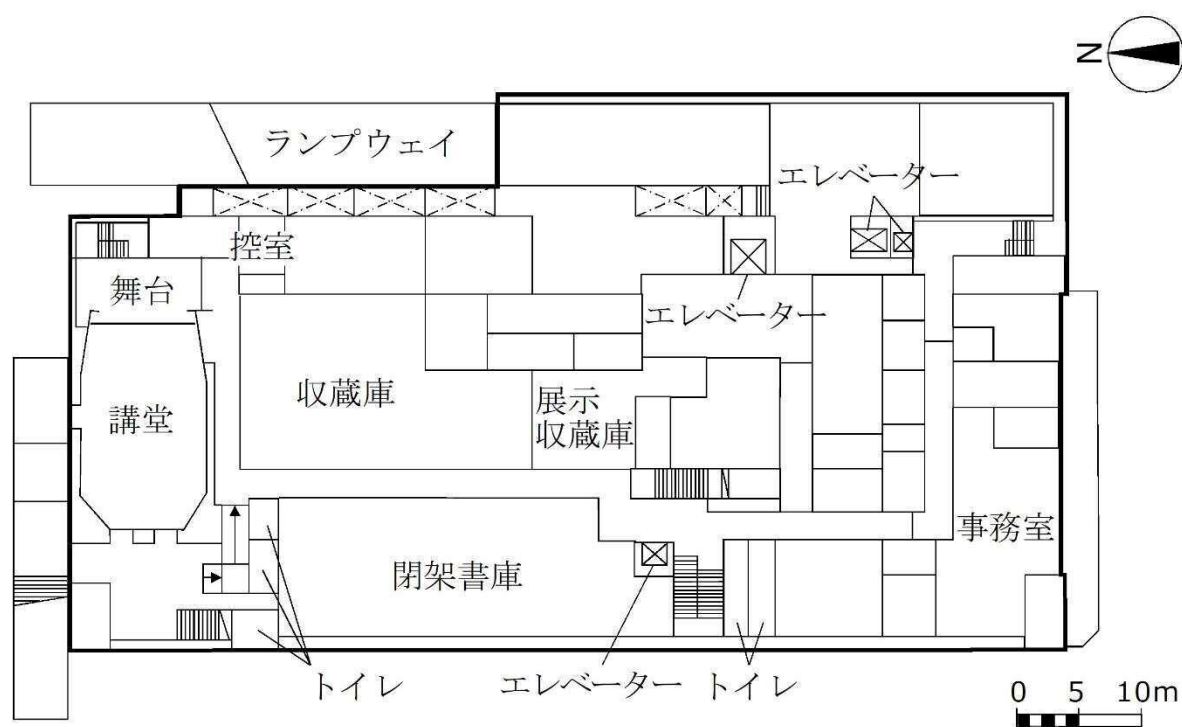
(注) () 内は令和10年度の東館改修前の用途である。

イ 本館各階平面図

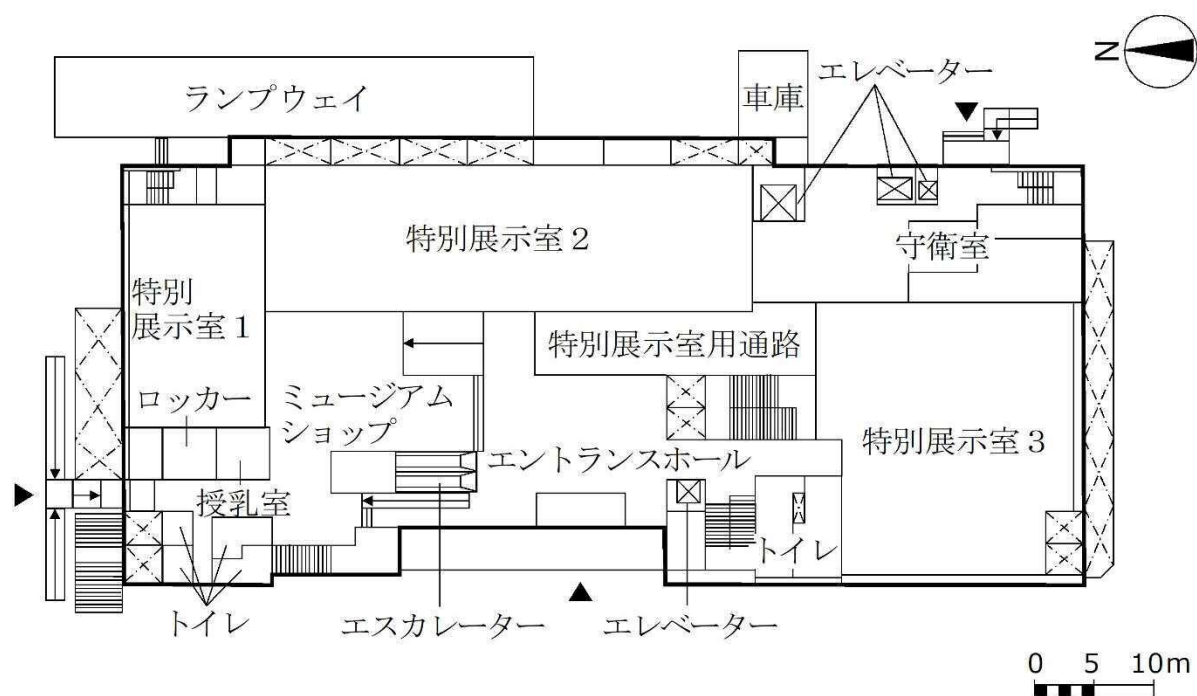
本館地下 2 階



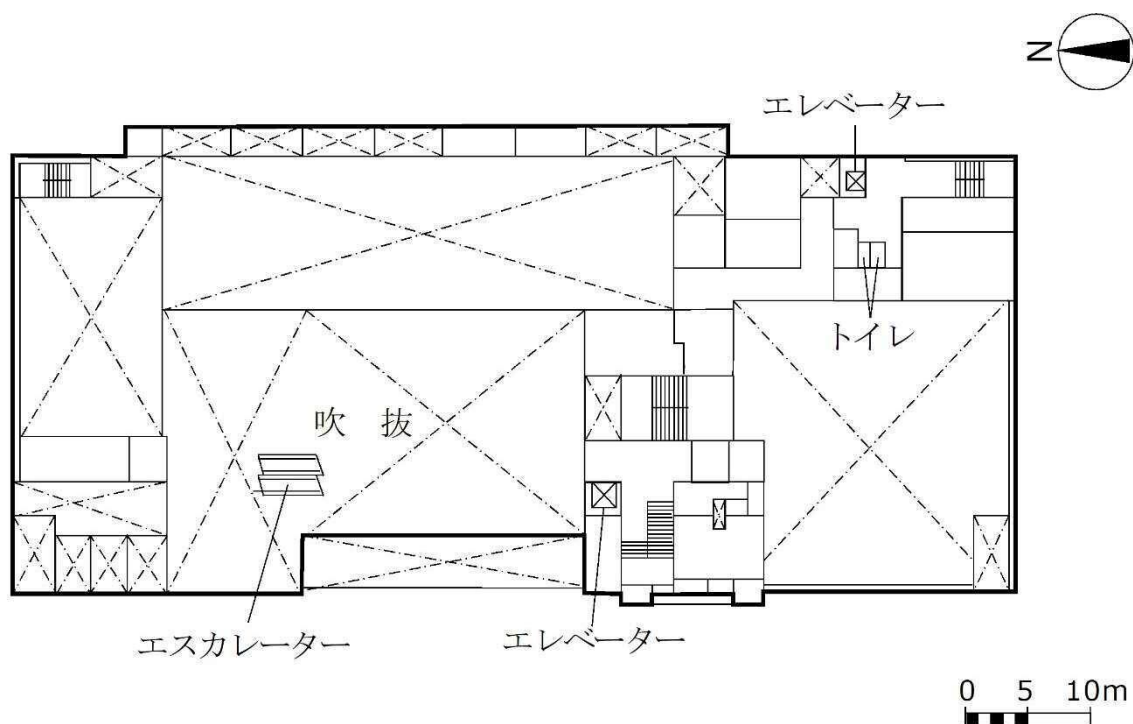
本館地下 1 階



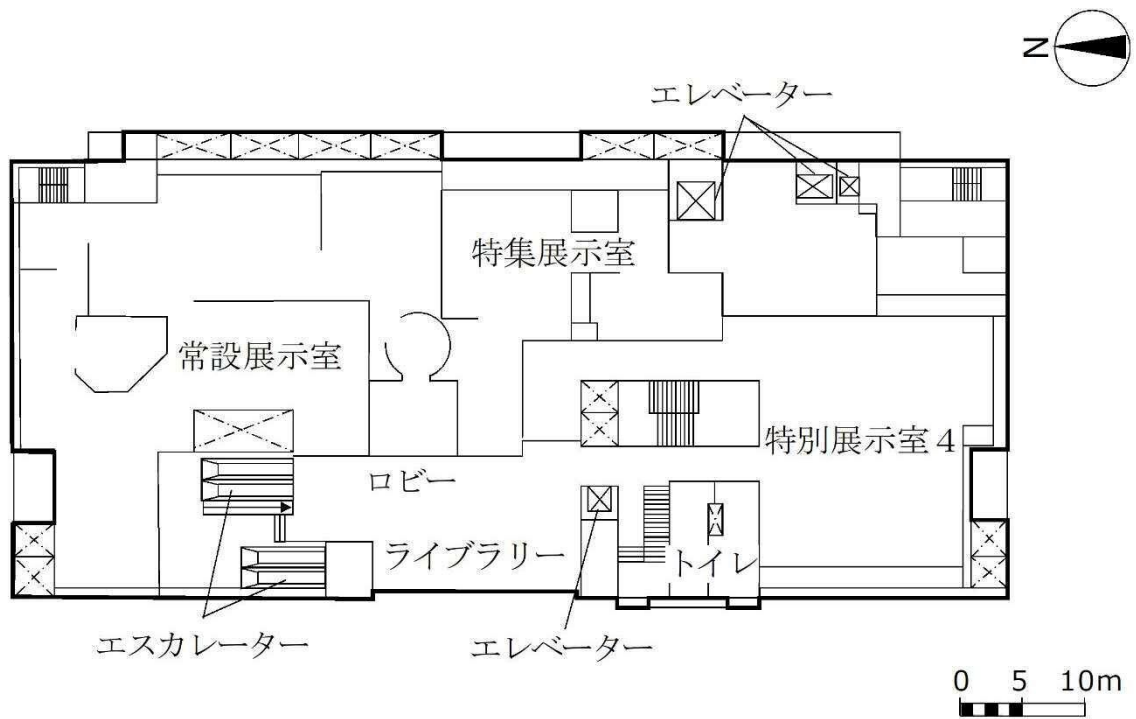
本館 1 階



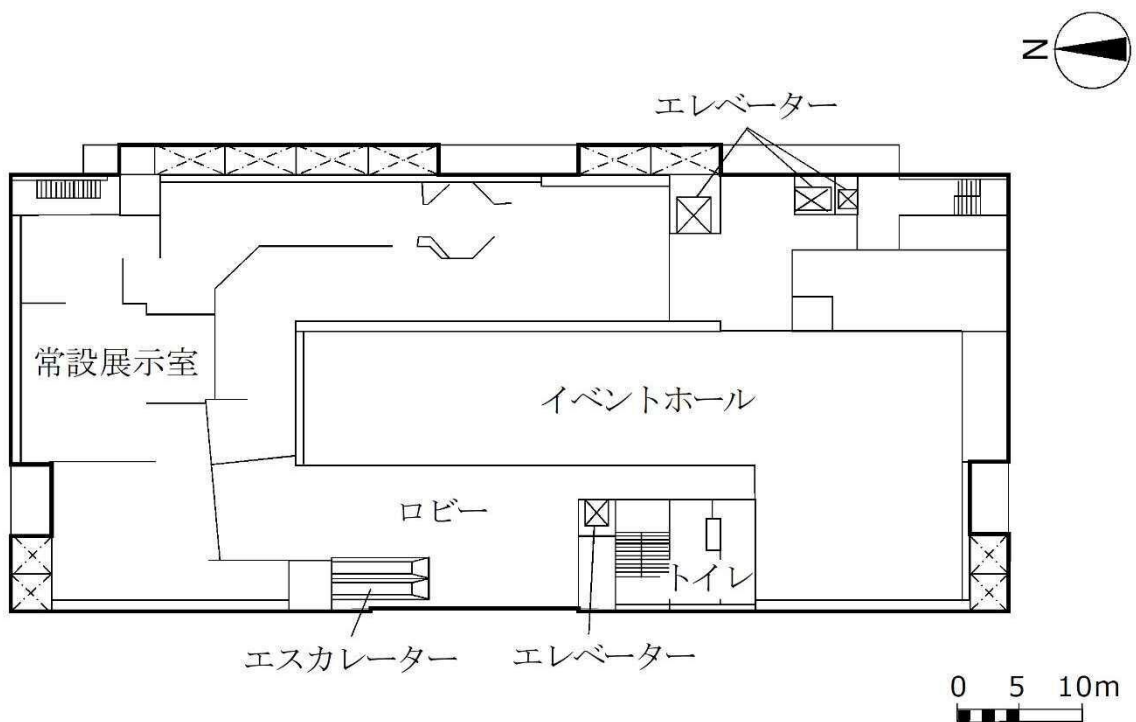
本館M 2 階



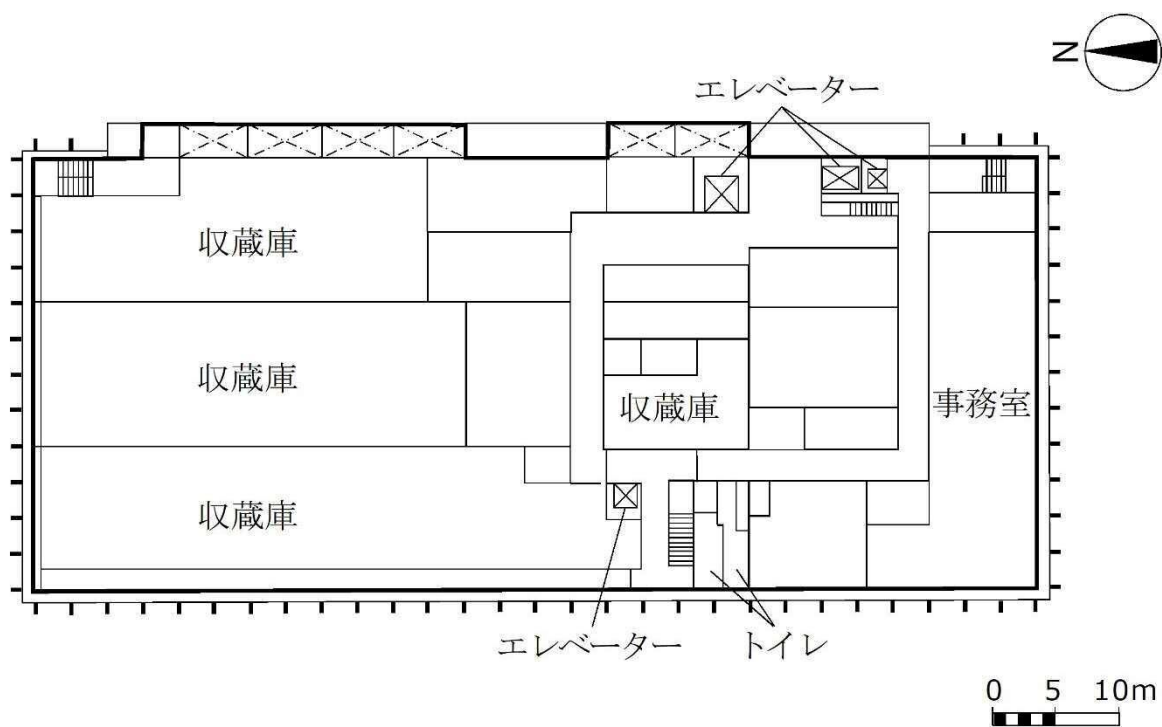
本館 2 階



本館 3 階

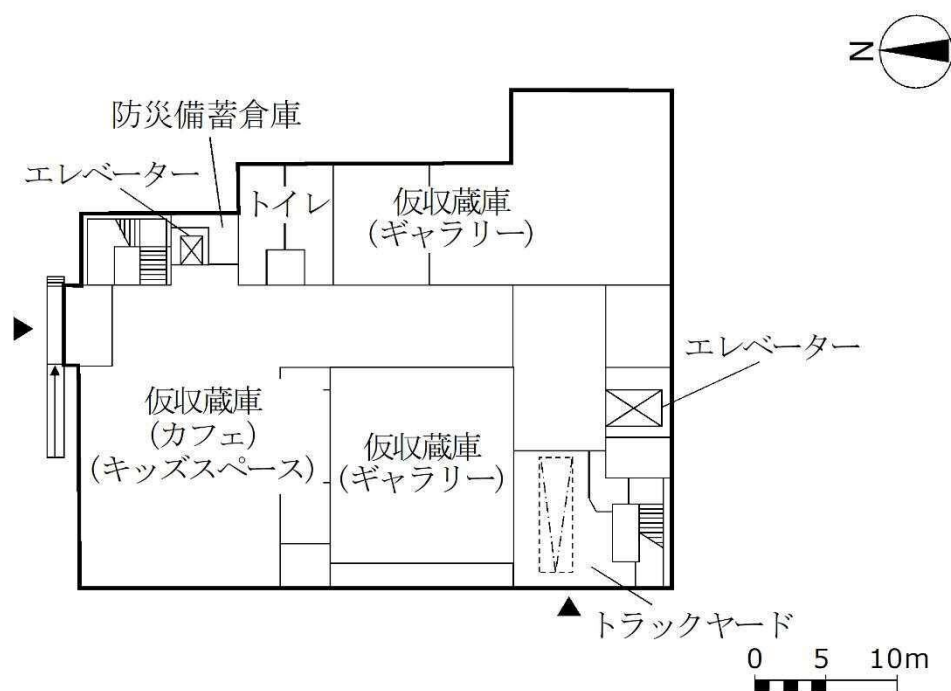


本館 4 階



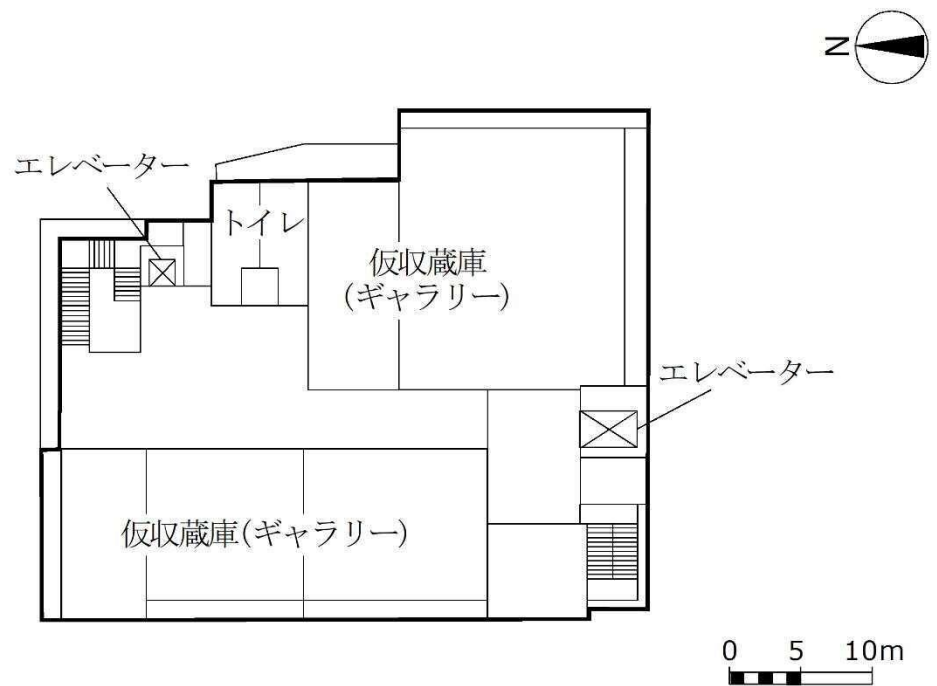
ウ 仮収蔵庫各階平面図

仮収蔵庫 1 階



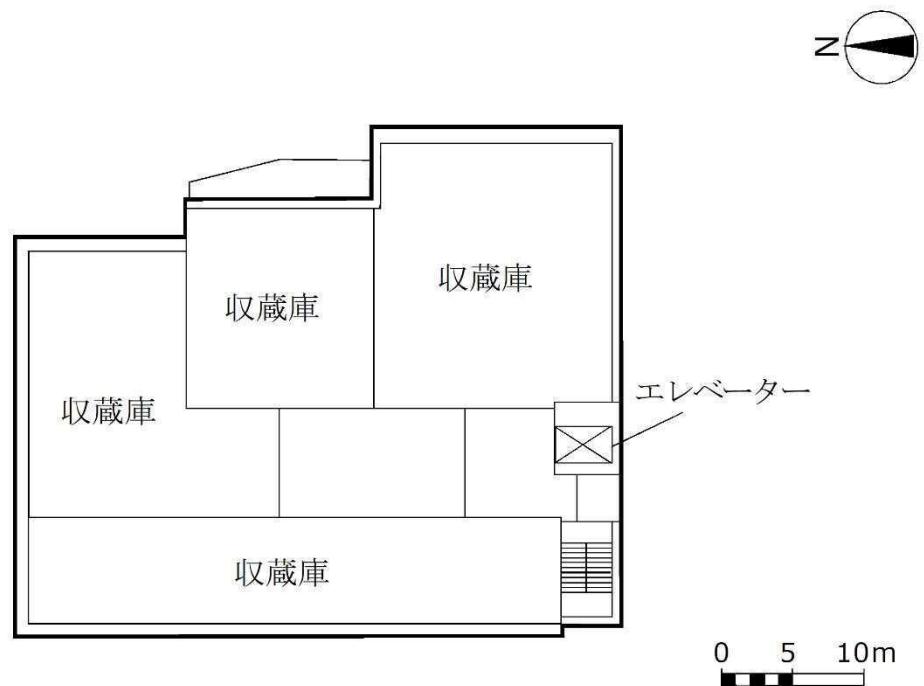
(注) () 内は令和 10 年度の東館改修後の用途である。

仮収蔵庫 2 階



(注) () 内は令和 1 0 年度の東館改修後の用途である。

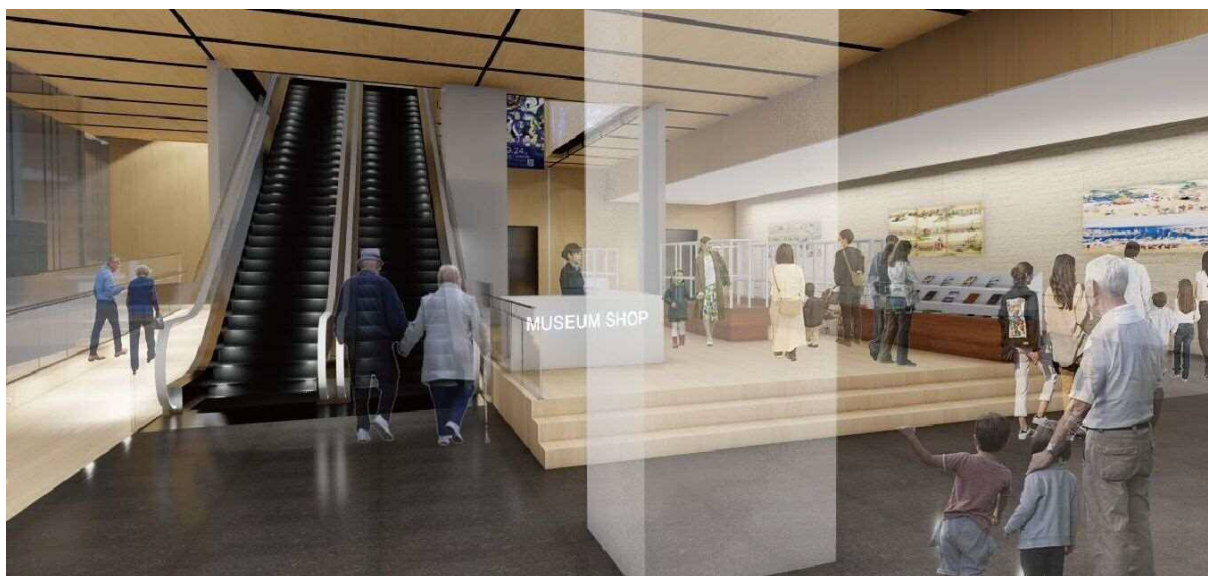
仮収蔵庫 3 階



エ イメージパース
(ア) 外観イメージ



(イ) エントランスイメージ (本館 1 階)



(ウ) ライブラリーイメージ (本館 2 階)



(エ) 仮収蔵庫イメージ



3 展示計画

(1) 常設展示室

ア 展示方針

- ・今の私たちが生きる社会を形づくったものとして名古屋を中心とする尾張地方の歴史や文化を提示し、過去の営みから来館者が未来を考えるきっかけとなる展示を目指す。
- ・過去に生きた人々の営みや体温を感じられる展示手法を用いて、来館者の心におどろき・発見・感動を提供する。
- ・展示室内に広い空間をつくり、体験や娯楽などを通して来館者が相互に交流できる場を提供する。

イ 展示構成

区 分	内 容
通 史 展 示	名古屋を中心とする尾張地域の歴史を時代別に分けて紹介 3階：（ア）オープニング （イ）はじまりの人とくらし （ウ）尾張の誕生 （エ）尾張国の時代 （オ）信長・秀吉・家康 2階：（カ）尾張藩の時代 （キ）わたしたちの名古屋市へ （ク）エンディング
歳時記展示	名古屋の祭礼、年中行事及び風物詩等を一年のサイクルとして季節毎にまとめ、人々の社会生活や精神生活の様子を紹介 3階：歳時記展示
特 集 展 示	何度も訪れたくなるよう定期的に展示替えを行い、調査研究の成果や資料などを紹介 2階：特集展示

ウ 展示手法

区 分	内 容
資 料 展 示	実物資料等を間近に鑑賞・観察する基本的な展示
再 現 展 示	昔の文化や人の営みを背景から細部まで空間的に再現する展示
体 験 展 示	触れる、聞くなどの感覚に働きかける展示
I C T活用	インターネットでデジタルコンテンツを提供する等 I C Tを活用した展示

(2) 常設展示の内容（基本シナリオ）

ア 通史展示

(ア) オープニング



(イ) はじまりの人とくらし

人類が東海地方へ到達してから、稲作が渡来して大きく社会が変化するまでの人びとの姿を紹介する。

(イントロ：人類の到達～狩猟・採集・^{ぎょうろ}漁撈の時代～農耕社会の成立)

※ 狩猟・採集・^{ぎょうろ}漁撈の時代のイメージ



(ウ) 尾張の誕生

弥生時代から古墳時代にかけて、尾張につながる地域社会が形作られていく過程を紹介する。

(イントロ：集落遺跡を掘る～クニの成り立ち～前方後円墳の時代～古墳の終わり)

※ イントロ：集落遺跡を掘るのイメージ



※ 古墳の終わりのイメージ



(エ) 尾張国の時代

奈良時代から室町時代にかけて、外部との交流によって大きく変容していく地域社会の様子を紹介する。

(イントロ：文字のはじまり～国司と郡司～諸国と行き交う人
ともの～中世の寺社とまち)

※ イントロ：文字のはじまりのイメージ



※ 中世の寺社とまちのイメージ



(オ) 信長・秀吉・家康

戦国時代から江戸時代初頭にかけて、戦国の世が終わり平和の礎が築かれていく過程を紹介する。

(イントロ：信長を語る～信長前夜～信長と尾張～秀吉の天下統一～家康と乱世の終わり)

※ イントロ：信長を語るのイメージ



※ 秀吉の天下統一のイメージ



(カ) 尾張藩の時代

江戸時代の平和な社会で、人びとが多様で充実した活動を展開していく様子を紹介する。

(イントロ：藩領を見わたす～繁栄の礎～花開く尾張名古屋～近代の足音)

※ イントロ：藩領を見わたすのイメージ



※ 花開く尾張名古屋のイメージ



(キ) わたしたちの名古屋市へ

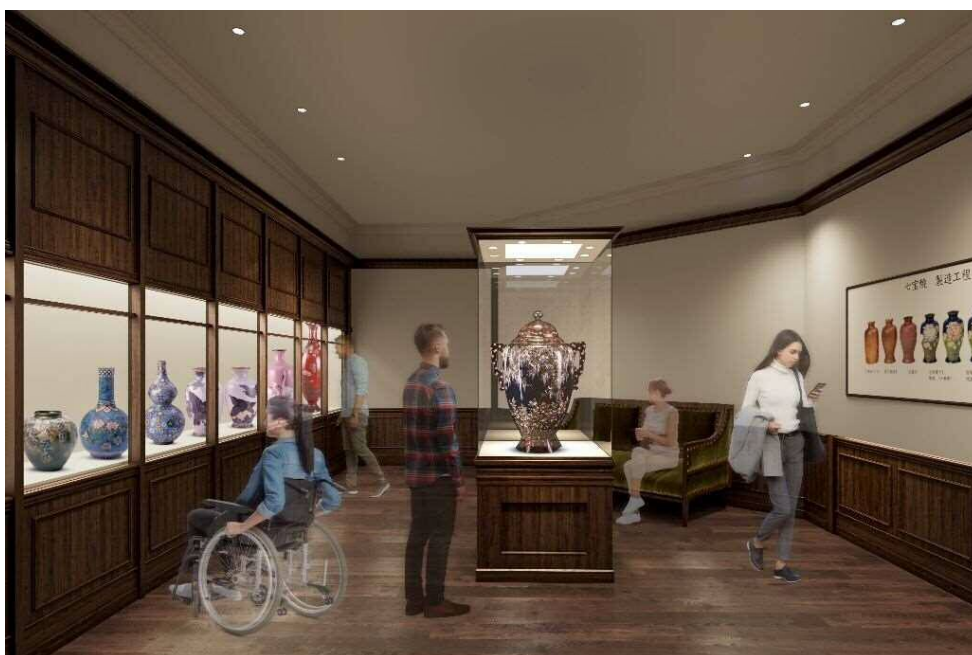
明治から現在まで、名古屋の大都市への成長と共に大きく変化する人びとの営みを紹介する。

(イントロ：電車停留場の雑踏～近代都市名古屋～戦争と市民～復興と高度成長～わたしたちの名古屋)

※ イントロ：電車停留場の雑踏のイメージ



※ 近代都市名古屋のイメージ

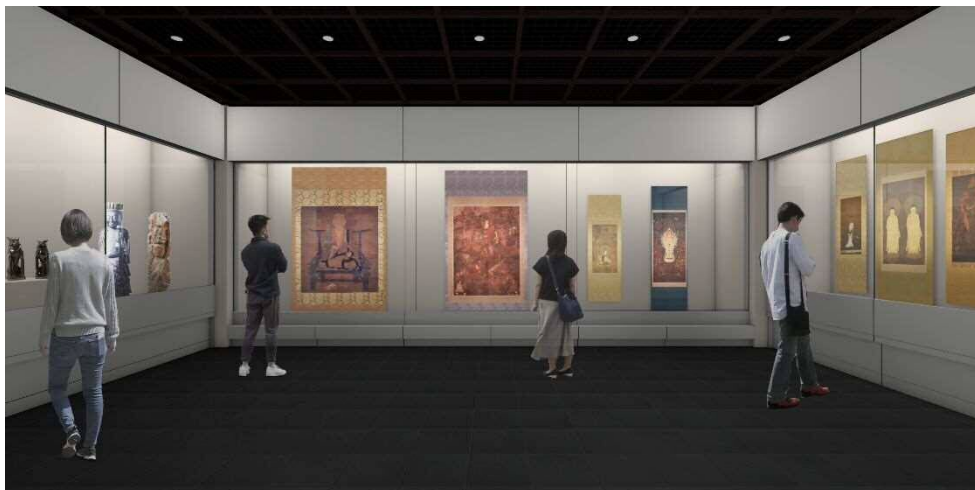


(ク) エンディング

イ 歳時記展示



ウ 特集展示



（３）特別展示室

- ・名古屋・尾張の特色や魅力を伝えるため、資料などを活用しつつ、学芸員による調査・研究の成果を発信する企画展を開催
- ・話題性の高い巡回展を誘致するために展示室を拡大し、国内外の歴史や文化を紹介する共催展、特別展を開催
- ・多様な展示品に対応するため、壁面展示ケースのみならず、壁面ケースを塞ぎ、展示室内を区画することができる展示用スライディングウォールを整備

（４）イベントホール

- ・民間事業者等が実施主体となる現代的な展示・イベント等を開催
- ・民間の企画・運営力を活用しながら、今まで来館していなかった客層を取り込むことで集客力を高め、博物館活動との相乗効果を創出し、博物館に新たな魅力を付加

（５）ワークショップ棟

- ・土、火、水を使用したプログラムなど、多様なワークショップを行う場所として本館外に整備
- ・災害時における文化財レスキューの活動場所としても想定

4 デジタル名古屋市博物館

(1) 概要

名古屋市博物館公式ウェブサイトにおいて、資料アーカイブス、デジタルコンテンツ及び展示内容をアクセシビリティに配慮した形で公開することで、場所や時間を問わず、自身の端末でそれぞれの興味や目的にあわせて博物館を活用できるようにする。

(2) 公開内容

ア アーカイブス

区 分	内 容
資料データベース	博物館資料の基本的な情報、写真を検索できるように、令和5年10月からデータベースを公開
所蔵図書データ	ライブラリーで来館者が興味ある図書を検索し、閲覧できるように図書データを整備
出版物データ	過去の博物館だよりや研究紀要をデータ化し、研究成果や資料情報を提供

イ 学びのコンテンツ

区 分	内 容
デジタル版名古屋のうつりかわり	学校での調べ学習に対応した、小学校3年生の社会科の単元内容を学べるコンテンツ
子ども博物館	キャリア教育に対応した博物館の仕事を学べるコンテンツ
名古屋城下・名所お調べ帳	江戸時代における城下のどこに誰が住んでいたのか、名所の過去と現在等を地図で調べられる街歩きアプリ

ウ 常設展関連コンテンツ

区 分	内 容
デジタル図録「尾張の歴史」	展示解説や地図・動画などをインターネット上でも見ることができるようにすることで、事前・事後の学びや楽しみを提供
見学コースのすすめ	来館者のニーズに応じたおすすめ見学コースを提案し、来館前の調べ学習にも対応

5 スケジュール

区 分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度
本館・外構	設計		工事					
		●————● ・再開（特別展等）						
		休館						
常 設 展 示	設計		工事				・再開	
仮 収 蔵 庫 （ 東 館 ）	工事		（仮収蔵庫）			改修設計	改修工事	東 館 オープン
仮 事 務 室 （東館前庭）			（仮事務室）			跡地整備 設 計	跡地整備 工 事	東館前庭 オープン
資 料 移 転	梱包		輸送			輸送・開梱		

（注１）区分の（ ）内の名称は改修・整備後の用途である。

（注２）ギャラリーは令和５年度から令和１０年度まで休止している。